

2017年  
夏号

# 県政だより

## 第11号

日本共産党和歌山県議団

和歌山市小松原通 1-1 県庁内  
TEL : 073-425-1138 FAX : 073-425-1143  
ホームページ <http://www.naxnet.or.jp/~w-jcpken/>  
E-mail [w-jcpken@naxnet.or.jp](mailto:w-jcpken@naxnet.or.jp)  
おくむらのり子事務所 和歌山市西庄 274  
TEL・FAX : 073-480-5477

# いのちとくらし大切にする県政へ

# 日本共産党 県議会議員 おくむらのり子



メガソーラーが計画されている和泉山脈をさす、おくむらのり子県議

残暑お見舞い申し上げます。

最近のもっともうれしいニュースは、国連会議で核兵器を禁止する条約が 122 カ国の賛成で採択されたことです。

残念ながら日本政府はその場には出席しませんでした。ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名をさらに広げてゆきたいと思います。そして、憲法を守り平和な日本を築くため、みなさんと共に力をあわせて参ります。

県議会議員・おくむらのり子



メガソーラー計画地を視察する、おくむらのり子県議(ピンクの服)ら

# 広大な森林伐採 災害の危険高める メガソーラー計画に反対



6月議会で一般質問する、おくむらのり子県議

おくむらのり子議員は6月県議会で、和歌山市におけるメガソーラー計画の問題をとりあげました。この計画は、和泉山脈の千手川をはさんで隣接する2つのメガソーラー施設で、合わせて206ヘクタール、甲子園球場の約53倍にもなる日本最大級のものです。建設されれば広大な森林が伐採され、周辺地域の土砂災害・洪水の危険性が高まるばかりか、大量の除草剤使用による紀ノ川の汚染が心配されています。

おくむら県議は、園部・六十谷・直川地区の計画（鈴鹿電設グループ）は県の環境アセス対象外であることを指摘。75ヘクタール未満であればアセスなしに次々と開発が可能になるとして、対象基準をきびしくするよう求めました。

県環境生活部長は「アセスをまぬがれるため分割している場合はアセス実施を求める」と答えました。



## 住民の会と懇談 メガソーラー計画問題で 日本共産党議員団



報告するおくむらのり子県議（右から2人目）

おくむらのり子議員ら日本共産党県議団は同和歌山市議団、同国会議員団とともに、「いずみ山系の巨大太陽光発電を考える会」との懇談会を開催しました。

参加者からは「大規模な自然破壊をする自然エネルギーは本末転倒」という意見や、環境への影響、工事期間中の通学路の安全性の問題、住民への説明が不十分なうえに協力金で住民の安全と引きかえに同意をせまる事業者の姿勢などが報告されました。

日本共産党議員団は、住宅に隣接する太陽光発電計画を住民のたたかいで阻止した他県の経験を紹介。住民の合意が大前提であるとして「みなさんの声を議会や行政にとどめる」と約束しました。



メガソーラー計画地を視察する日本共産党議員団  
議員団はその後、メガソーラー計画の現地を視察しました。

# 和歌山にIR=カジノはいろいろな！ 「カジノ解禁・誘致ストップ」声明を発表

おくむらのり子議員ら日本共産党県議団などは6月、「『カジノはあかん』とお考えの県民のみなさんと力をあわせ、刑法が禁じるカジノの解禁・誘致ストップへ全力をあげます」を発表しました。

和歌山県では、仁坂知事が早くからカジノ誘致に名乗りをあげ、和歌山マリーナシティを候補地に国や事業者への宣伝活動に熱をいれています。

声明では「カジノは刑法が禁じる賭博施設」と強調。ギャンブル依存症など社会的悪影響が深刻で、すでに日本が公営賭博やパチンコでギャンブル大国になっていることを示し「現状でもギャンブル依存症対策が急務」と訴え、「カジノはあかん」の声を広げようとよびかけました。

## カジノを和歌山によび込むための意見書に反対

6月議会では、IR（カジノ含む統合型施設）を和歌山によび込むための意見書案が自民党から提出されました。

おくむらのり子県議は、カジノ推進派のシンクタンクや海外資本は日本人がターゲットであると明言していることを指摘。知事がいう“外国人専用”は守られるかどうかかわからず、カジノで増えた雇用の何倍もの人生が台無しになることを忘れてはならないと訴え、意見書案に反対しました。



反対討論する、おくむらのり子県議

## カジノ誘致問題で各団体を訪問・懇談

おくむらのり子議員ら日本共産党県議団は、県内の経済団体や医療関係者、教育関係者らを訪問し、和歌山へのカジノ誘致問題について意見を聞き懇談しました。

訪問先の担当者からは、現時点で賛成・反対を決めていないという声もある一方、「まちづくりの基本はIRで人を呼ぶようなことではなく、歴史の魅力をどう発信して人に来てもらうかだ」「IRによる集客もあるだろうが弊害もある」「IRはいやです」など、否定的な意見も出されました。



## 和歌山市でカジノ問題学習会

「カジノ問題学習会」が6月に和歌山市で開催されました。

学習会で講師は「カジノ解禁はアベノミクスがうまくいかなくなって苦しまぎれに出したもので、経済政策ともいえないもの」と指摘。ギャンブル依存症はウソと借金から始まり、多重債務、横領など犯罪の温床になり、自殺や家族をも不幸にすることを明らかにし、「命まで奪い、人



の不幸の上にカジノ事業者だけがもうかるもので、百害あって一利なし」と訴えました。

## おくむらのり子県議の6月議会報告

# 憲法違反の「共謀罪」法は直ちに廃止を



仁坂知事の答弁を聞く、おくむらのり子県議(右)

安倍自公政権は委員会審議を一方的に打ち切るという異常なやり方で、「共謀罪」法を強行採決しました。

おくむらのり子県議は、2013年の特定秘密保護法、2015年の安保法制（戦争法）、今年の「共謀罪」法成立という一連の流れは、戦争する国づくりを進める大変危険なものとして強調。テロ対策でないことが明らかであり、

一般人も対象に、思想・良心・表現の自由を侵害し監視社会をつくる、違憲立法の「共謀罪」法は廃止すべきと訴えました。

仁坂知事は「テロを心中で計画している輩を是認し放っておいてよいのか」と、安倍政権のウソの説明を擁護しました。

## 「政治不信とりのぞく国会運営を」 日本共産党県議団が意見書を提案

意見書案では、森友・加計学園疑惑が解明されていないのに、テロ等準備罪（共謀罪）法の審議を途中で打ち切り、異常な手続きで強行採決し国会を閉会したと糾弾。政府に都合の悪いことは国民から隠そうとしているのではないかと、という政治不信を高めていると批判し、ただちに臨時国会を開催し、国民の疑問に答え政治不信をと

りのぞく国会運営をすすめることを求めました。

この意見書案は、自民党と公明党の反対多数で否決されましたが、提案者である日本共産党のほか、改新クラブ（5人）、無所属議員の会（1人）の8人が賛成しました。



## 一人親方への保険加入強要問題を告発 県が「建設業協会通じ周知」

自身のみで建設業などを行う「一人親方」は、労働者でないため雇用保険の加入資格も義務もありません。ところが、元請企業から「一人親方のグループで事業体をつくり雇用保険に入ってくれ。入らないと現場から出て行ってもらおう」などと迫られるケースがおき、多くの相談が和歌山民主商工会に寄せられています。これは元請企業が、労働者の就労環境の改善を目的とした国の“社会保険加入下請指導ガイドライン”の趣旨から外れた解釈で、一人親方に保険加入を迫るものです。

おくむらのり子県議は「仕事をもらうため、雇ってもしない人を雇用している状況を作らないといけない」という声を紹介。一人親方というかたちでも引き続き現場に入れるよう、早急な対策を求めました。

県土整備部長は「ガイドラインでは義務のない保険加入まで求めている。建設業協会を通じ正しい趣旨の周知に努め、県の相談窓口利用促進を図る」と答えました。

